

H 罷業者ハ二十六日以降、勞農黨在厚支部ノ要後ヲ求ムルコトニ決シ今日午前十時工場内ニ集合別記(六)ノ如キ要求書ヲ作成午後四時職工代表名井正志外一名ハ勞農黨負関谷復之助ト共ニ星社長ニ會見提出シ二十八日午後四時迄ニ回答セラレタキ旨ヲ附言シテ辞去セリ

(2) 事業主側

- A 会社側ニテハ賃金支拂ノ為極力全業ニ奔走シツ、アリ
- B 二十二日三百四十三名ニ對シ五百四十圓ヲ支拂ヒタリ
- C 二十四日全業ニ金一千圓ヲ支拂ヒタリ
- D 二十五日社員及職工男一名ニ對シ三圓五十錢宛女一名ニソキニ圓宛支拂ヲ了シタリ

(3) 交渉状況

A 十九日午後三時ヨリ職工約百三十名(内女十二名)ハ工場食堂内ニ集合藤田重役外一名ト會見シ重役側ヨリ

「本日午後五時社員男四円女二圓職工男三圓女一圓五十錢支拂ヲレ

者ヲ述ヘタルニ勞働者側ハ「要求ヲ為サ、ル社員ニ多額ヲ支拂ヒ欲死ニ近キ我々ニ少額支拂ヲハ会社ノ敬意ヲ疑フ明後日迄ニ一人十圓宛ヲ支拂ハレタミ」ト要求シ重役側ニ相當努力カスル旨ヲ述ヘ會見ヲ了レリ

B 二十一日午後四時職工約百名ト事業主側大西外四重役ト會見シ大西重役ヨリ會社ノ窮狀ヲ訴ヘタル上一日ニ速ニ賃金支拂ヲ為ス旨ヲ述ヘ尚前記ノ社長失言問題ニ付サル事實ナレトテ茲解ヲ求メタルニ職工側ハ之ヲ肯セス遂ニ星社長中席ニタルニ押問答ニ終リ要領ヲ得ス然レニ二十二日午後四時迄ニ二百四十三名ニ對シ五百圓ヲ支拂フコトトナリ會見ヲ了レリ

C 二十二日午後三時事業主側長井外三重役ハ職工側山崎清